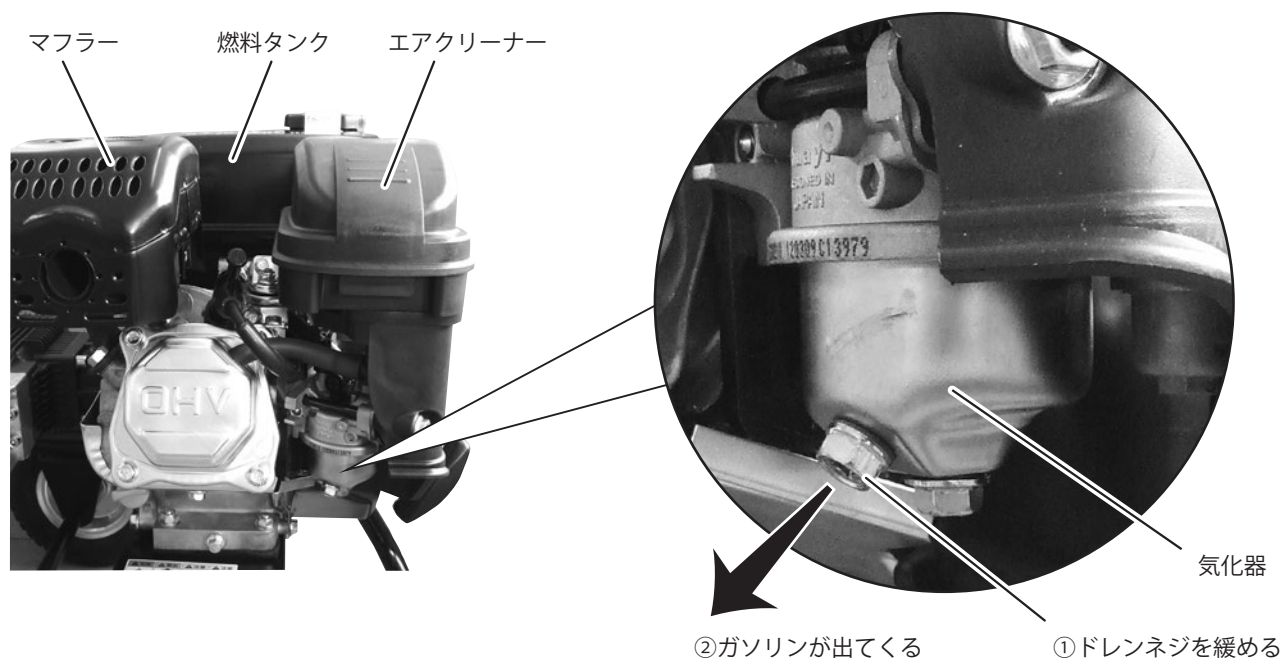


長期間(1ヶ月以上)使用しないときのお手入れ

※長期間(1ヶ月以上)ご使用にならない時は燃料タンクとエンジン気化器の中のガソリンを必ず抜いてください。
ガソリンを抜かずに長期間放置するとガソリンが劣化し始動不良または運転不調の原因になります。

- (1) 燃料タンク内のガソリンを全て抜いてください。
- (2) 低速で運転(空運転不可)して、ガソリンを使い切ってください。
- (3) 気化器のドレンネジを緩め、内部のガソリンを全て抜いてください(イラスト①②参照)
- (4) 点火プラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを2~3cc注入し、クランク軸を数回回して点火プラグを取付け、圧縮のあるところで止めてから、保管してください。



取り扱いのポイント

- ・ガソリンは自然に劣化しますので、必ず抜いてください。
- ・オイルは自然に劣化します。使用しない場合も定期的に交換してください。
(目安として6ヶ月に1回程度)



警告

ガソリンは非常に引火しやすく、また気化したガソリンは爆発して死傷事故を引き起こす可能性があります。

ガソリンを抜くときは

- ・エンジンを停止してください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・換気の良い場所で行ってください。
- ・ガソリンはこぼさないように抜いてください。
- ・万一こぼれたときは、布切れなどで完全にふき取り火災と環境に注意して処分してください。